

特定非営利活動法人 イマジン

〒427-0026 静岡県島田市扇町13-4 Tel 0547-34-3370 Fax 0547-34-3371



イマジン通信

Vol.36

? どうなる? 相談支援事業

前号での振り返りの中で、指定相談支援事業の休止と島田市からの相談支援事業委託の打ち切りの話をしました。その後、イマジンにとっても、地域にとっても、何の影響も変化もなく年度末を迎えました。いったい相談支援事業の委託とは何だったのでしょか?島田市からの話は『委託事業』という『委託料を支払って事業の形を作る』というものに終始しています。相談支援とはどのようなものでなければならないのか?島田市で生活する障害者とそのご家族が抱える不安や悩み、疑問をどのように解消していくのか?が見えてこない…イマジンに何を求め、何をしたらいいのかが分からないのです。

イマジンには日々、多くの方からの相談が入ります。ほかの支援センターや施設、学校、病院等にも相談がかけられていると思います。公的機関にはつながっていなくても民生委員などの地域の方が支えてくださっている場合もあると思います。そして、ご本人を始めとしてご家族だけで困っている方もたくさんいらっしゃると思います。相談支援事業とは、一定地域の相談支援体制を考えたときに、相談支援を専業としていて、より専門性を持った支援をする事業です。そして、地域の中でどのようにして、その障害者が本人らしく生活していけるか?への支援をするのが主たる役目になります。相談支援事業所が、その他の施設や学校、病院等と大きく違うところです。そういった相談支援事業の中での行政の役割は大きなものがあります。元来、公正・中立に住民の生活を守り・支えることが行政自体の役割だからです。つまり、行政は相談支援体制を作ることが主たる役割になります。必然として、住民の相談を聞く立場にもあります。加えて、現在の障害者自立支援法では、各市町は『地域生活支援事業』の中で相談支援事業は必須となっています。相談支援事業所と行政のみが専業で構成・中立な立場の相談支援事業を行っていると言ってもいいでしょう。そして、障害者自立支援法の中に一定の条件を満たした事業所が申請をすることで『指定相談支援事業所』になり、支援法内の相談支援ができることとなります。

一口に相談支援と言っても様々な機関と人が様々な事業で実施しています。責任ある行政の確固たる考えと施策がとても重要です。委託の相談支援事業とは地域で生活する障害者とそのご家族にとっては毎日必要なものではなくても、必要な時には必ず無くてはならないものだと思います。相談支援事業所は、『警察』や『消防』と変らない体制が必要です。いったい相談支援事業はどうなっていくのでしょうか・・・

日中一時支援のお願い m(_ _)m

昨年よりつつい雨やどりにてスタートした日中一時支援事業ですが、徐々に利用を希望される方が増えてきています。諸々の問題により、まだまだご希望に添えない事が多く、皆様にはご迷惑をおかけしております。

利用希望の声の高まりを受けスタートした事業でしたが、開始時より実施方法を模索してきました。『預かり』の事業でありながらも“ただ預かるのではなく、個々への支援を大切にしたい” “ご本人が希望する過ごし方を提供できる時間にしたい” そのように考え、サービス内容や職員体制等を考えてきました。しかし、長時間の支援を提供する割には、報酬単価が低く十分な職員を配置できない事、CHと言う狭い空間である事による入居者と利用者への影響等の課題点が浮き彫りになり、中でも“時間の使い方”が最大の課題となっています。どこまでを預かりの範囲で支援していいのか?ご本人の時間として有意義な時間となっているのか?なかなか希望通りに支援を提供できないのが現実でした。現時点での結論としては、『日中一時支援』と名前に象徴される様、ご家族の事情等により一時的に預かりが必要な場合にのみサービスを提供させていただきます。目的や活動を求められる場合には、個別な支援が必要となりますので『移動支援』や『家事援助』等での支援を受けること、時間の長さや時間帯によっては『短期入所(ショートステイ)』の利用をお勧めします。福祉サービスの組み合わせにより、ご本人にとって有意義な時間の過ごし方、生活を送れるように…と考えます。現時点では、大変申し訳ありませんが、日中一時支援は“一定時間預かるだけ”の支援となってしまいますので、ご利用の際に十分なお話の上、ご利用ください。よろしく申し上げます。



“つつい雨やどり”の生活 ⑧

つつい雨やどりは、間もなく3回目の春を迎えます。平成20年4月に、グループホーム・ケアホームとして9人でスタートし、その年の6月に現在の10名に。平成21年10月には、入居者の障害程度区分変更に伴い、ケアホームとなりました。たった2年。されど2年。あっと言う間に駆けていった2年でしたが、入居者の皆さんにもスタッフにとっても、1日1日が積み重ねられた2年間だった様に感じます。

最近のつつい雨やどりでの変化と話題は、短期入所事業が始まり、様々な方が利用して下さる様になったことです。ご家族の用事で利用される方、ご本人の息抜きとして利用される方、自宅を離れる経験として利用される方などなど、理由は様々です。中には、『自宅以外では寝ることができない』『外での泊まった事がない』と、ご家族が眠れない程に心配されている方もいました。しかし、そんな心配も他所に、ちゃんと寝る事ができたり、自分で着替えや入浴をちゃんとやって見せてくれたり、ニコニコと笑って過ごしたりと、ご家族には“驚きの姿”“信じられない姿”を見せてくれています。もっともつつい雨やどりの入居者にとっては「最近、いろんな人が泊りに来るなあ…」といった感じなのですが（笑）

そんな短期入所に来る利用者の姿を見て、入居者の皆さんの変化を改めて実感しました。入居者の中には『頻繁に暴れる』『日中活動先に行けない』『寝ない』『家族に粗暴行為をする』など、家族や支援者からの対応が困難になっていた方たちがいます。それが今では、家族の元を離れ自立した生活を送っています。自宅で生活していた頃の困難さはありません。しかし、この生活は必ずしも本人たちが希望し、望んでスタートしたものではありません。もちろん、自分で「家を出て生活したい」と決めた方もいます。しかし、多くの方…ほとんどの方はご家族がつつい雨やどりの開所を知り、『本人にとってどうか？』

『この方法しかないのか？』を悩みに悩んで入居を決めました。その決断が今の入居者の自立生活につながっています。

入居者の素晴らしい変化・成長を感じながら、短期入所の利用者として接していると、今いる入居者がつつい雨やどりを利用していなかったら…ご家族が決断しなかったら…と考えてしまいます。一方で“この姿が彼らの本当の姿なのでは？”とも思います。短期入所の利用者も後を追いかけるような成長ぶりを見せる方が多く、中にはすっかり慣れてしまい“よく行く親戚の家”のようになっている方もいます。本人が“泊りに行く！”と訴えると、たくさんの利用者から聞きます。

増田さん(写真中央)♪
いっしょに遊んでくれてありがとう♪

自分から住み慣れた我が家を『出て行きたい』と言う方は多くありません。『自立がしたい』『サービスを利用したい』と訴えられる方も極一部です。その他の多くの方々は、ご家族等が本人に成り代わり、悩み、考え、様々な選択をしています。

『挑戦してみよう』『やらせてみよう』『うちの子には無理』『まだまだ心配だから』『まだ私が…』……。そんなご家族の思いや考えで、本人の世界は広くもなり狭くもなります。そして、その方の『自立』が、その先の『将来』が変わってきます。ご家族等の選択・判断の“重み”を感じ、それを受け止め・受け継ぐ私たちの支援の重要性も痛感する日々です。そして“少しでも早い時期から支援を受けることの大切さ”“家族以外の大人との関わりの大切さ”を入居者や短期入所の利用者の姿が現わし、支援の行き先を示してくれています。

今後も、多くの方々の協力を得ながら日々を積み重ねていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。（担当 北川）

追伸です。年度末を迎え世話人にも退職される方がいます。永遠に同じメンバーで…と行かないのは分かっているながらも寂しい限りです。本当にお疲れ様でした。そして、ありがとうございます。もちろん、新しく支援に加わる方もいますので、今まで以上に良い支援を心がけていきます。



有馬さん(写真 後列左2人目)
2年間、お疲れ様でした



冬のデイサービス

冬のデイサービスは、毎年恒例になりました年末の冬期デイサービス、新年になり法多山への初詣、クッキングに加えて「特別養護老人ホームあすか」で行われたミニコンサートへ行きました。どの日も天候に恵まれ、楽しく♪元気よく♪活動しました。参加者の笑顔から“満足してくれた”と思っています。



冬期デイ (12月)



法多山デイ (1月)



今年度のデイサービスを振り返ってみると、特に象徴的だったのが“参加者の多様さ”です。年齢、障害種別、性格、今までの経験値etc…さまざまな事柄において新しい参加者が新しい発見やドキドキを運んでくれました。常連の参加者の方にとっても、もちろん私たちスタッフにとっても、素敵な出会いになりました。今年度に見つけた課題点とこれからの継続していきたい点を踏まえて「来年度はどんなデイサービスにしようか?!」と、周りのスタッフも巻き込んで、ただいま考え中です☆来年度もイマジンらしいデイサービスにしたいと思います。(担当 古木)

今年度のデイサービスを振り返ってみると、特に象徴的だったのが“参加者の多様さ”です。年齢、障害種別、性格、今までの経験値etc…さまざまな事柄において新しい参加者が新しい発見やドキドキを運んでくれました。常連の参加者の方にとっても、もちろん私たちスタッフにとっても、素敵な出会いになりました。今年度に見つけた課題点とこれからの継続していきたい点を踏まえて「来年度はどんなデイサービスにしようか?!」と、周りのスタッフも巻き込んで、ただいま考え中です☆来年度もイマジンらしいデイサービスにしたいと思います。(担当 古木)



クッキングデイ (2月)



またまた♪新しい仲間が増えました♪

◇二宮祥広 (にのみや よしひろ)

『偶然の再会からなぜかお手伝いすることになりました。皆さんからは「何で…」とか聞かれることが多いですが、只今、勉強中ですので長い目で見ていろいろと教えてください。明るく、楽しくできればと思っています。』

◇山田昌治 (やまだ まさはる)

『ヘルパーと世話人をやっています。ボランティアから支援者になり、自分自身が日々“努力”の連続です。失敗も多いと思いますが、より良い支援ができるように頑張ります！どうぞよろしくお願いします。』



◇平口正秋 (ひらぐち まさあき)

『島田駅前の“ファニーサロンと千の風”という洋服屋をしています。皆さん、遊びに来てくださいね♪つついでの支援はめっちゃ楽しいッス(^^) 本業より本気になっちゃいそうッス♪♪』

◇小泉 武 (こいずみ たけし)

『初めてのことばかりで分からないことがたくさんありますが、皆さんに教えてもらいながら楽しくやっていきたいと思っています。おいしい料理を作るので、たくさん食べてくださいね。趣味はコーラスです♪』

平成21年度の会員になっていただきありがとうございます。

【正会員】

☆稲守 克次様 ☆大石 京様 ☆大谷 祐美子様 ☆上城 伸栄様 ☆永田 明代様
☆長阪 弘枝様 ☆二見 孝秋様 ☆和出 文子様

日ごろからイマジンの活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。NPO法人にとって正会員は必要不可欠な存在です。年会費の受付は常時行なっています。新規の会員も継続の会員も大歓迎です。年会費はイマジンまでお持ちになっても下記口座まで振り込まれても結構です。イマジンのサービスを利用されている方は引き落としも可能ですので、今年度もイマジンの活動に引き続きご協力・ご支援をお願い致します。

正会員 5,000円 ・ 賛助会員(個人) 1,000円 ・ 賛助会員(団体) 20,000円

【振込先】 静岡銀行 島田支店 普通 0606771
特定非営利活動法人イマジン 理事長 澤島直通



アルミ缶の寄付 本当にありがとうございました。

皆さん、つつい雨やどりでのアルミ缶の収集にご協力いただきましてありがとうございます。平成21年度は320kgのご協力をいただきまして14,850円になりました。本当にありがとうございました。平成22年度は新たな回収業者のご協力をいただき、『アルミ缶』『スチール缶』『ペットボトル』の3種類を集めることにしました。今年度同様に、平成22年度も皆さんのご家庭から出るゴミをリサイクルとして寄付してください。ペットボトルは、キャップ付き、ラベル付きで結構です。障害者支援センターイマジン(扇町)でもつつい雨やどり(初倉)への持ち込みOK♪ご連絡をいただければ取りにも伺わせていただきますよ♪

つつい雨やどりでは、貯めたお金でお隣の会社(丸紅)との親睦バーベキューを開催することを目標にみんなで集めていますよ♪ご協力お願いします。

お知らせ

◆◆ 平成22年度イマジン総会のお知らせ ◆◆

平成22年度イマジン総会を下記の日時に開催します。

平成21年度の報告と22年度の計画・予算を始めとして、今年度行なった「イマジン学習会～自分らしい地域生活を送るために～」の報告を兼ねて、皆さんと一緒に地域生活に必要なサービスと支援についてお話する時間を持ちたいと思います。制度、地域の現状を知ると共に疑問・意見・悩みを交わせたらと思います。ご多用のこととは存じますが、ご都合をつけてご出席のほどよろしくお願い致します。

また、イマジンの活動に関心のある方が近隣にいらっしゃいましたら、お声かけの上、お気軽にご出席ください。重ねてお願い致します。

日時 平成22年 5月 22日(土) 会場 午後5時30分 開演 午後6時00分
場所 島田第一中学校 地域交流室

- ◎ 場所の分からない方、地図を用意しています。お気軽にお申し付けください。
- ◎ 当日は別室を用意しておりますので、お気軽にお子様をお連れ下さい。
- ◎ 年会費の受付も行ないますのでよろしくお願い致します。



【連絡先】 特定非営利活動法人 イマジン

障害者支援センターイマジン

〒427-0026 静岡県島田市扇町13-4
TEL 0547-34-3370 FAX 0547-34-3371
e-mail imagine@za.tnc.ne.jp
URL <http://www3.tokai.or.jp/Imagine/>

初倉事務所(つつい雨やどり隣)

〒427-0113 静岡県島田市湯日1-1
TEL / FAX 0547-30-4117
e-mail npo-imagine@cy.tnc.ne.jp